

くすり一口メモ

経口抗がん剤を含む大腸癌化学療法

大腸癌の化学療法には、術後再発抑制を目的とした補助化学療法と、治癒切除不能な進行・再発大腸癌を対象とした全身化学療法があります。今までの化学療法は、注射剤を中心に治療が行われていましたが、フッ化ピリミジン系の抗がん剤で、経口剤と注射剤の治療成績がほぼ同等であることや、注射より経口での投与が患者のQOL向上につながることから経口抗がん剤を使用する機会が増えてきました。2009年には、国内の大腸癌ガイドライン（大腸癌研究会/編）が改訂され、さらに、白金製剤であるオキサリプラチン（エルプラット®）に結腸癌に対する術後補助化学療法、カペシタピン（ゼロータ®）に治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の保険適応が追加となりました。化学療法を行う場合、薬剤により保険適応が異なるため、術後補助化学療法が治癒切除不能な進行・再発大腸癌に対する化学療法か、部位が結腸か直腸かを確認する事が必要です。そこで今回は、経口抗がん剤の大腸癌における適応と、改訂された大腸癌ガイドラインで推奨療法となっている経口抗がん剤についてまとめてみました。

大腸癌に適応がある主な経口抗がん剤

商 品 名		ゼロータ®	UFT®	ユーゼル® ロイコボリン®	TS-1®
成 分 名		カペシタピン	テガフル ウラシル	ホリナートカルシウム	テガフル ギメラシル オテラシルカリウム
製 薬 会 社		中外製薬	大鵬薬品工業	ユーゼル：大鵬薬品工業 ロイコボリン：ワイス	大鵬薬品工業
適 応	術後補助 化学療法	(DukesC)			
	結腸 直腸	x			
治癒切除不能な進 行・再発大腸癌		(他の抗悪性腫瘍薬と併用)			
大腸癌ガイドライン推奨					x
剤形・規格・薬価		錠 300mg：354.1円	カプセル 100mg：295.8円 顆粒 100mg：373.6円 150mg：560.3円 200mg：747.1円	錠 25mg：2,218円	カプセル 20mg：679.6円 25mg：817.3円 顆粒 20mg：858.2円 25mg：1,032.1円

術後補助化学療法において、上記の薬剤は全て結腸癌に適応がありますが、カペシタピンは、直腸癌に保険適応がありません。また、治癒切除不能な進行・再発大腸癌において、カペシタピンは、「他の抗悪性腫瘍薬との併用」と添付文書に記載されています。併用される抗悪性腫瘍薬には、オキサリプラチン（エルプラット®）が一般的に使用されています。これに分子標的薬であるベバシツマブ（アバスチン®）を追加するレジメンも用いられています。カペシタピン+オキサリプラチンは、NCCNなどの海外におけるガイドラインでFOLFOX（レボホリナートカルシウム+フルオロウラシル+オキサリプラチン）と同様、治癒切除不能な進行・再発大腸癌の一次治療に位置づけられています。

【参考文献】

大腸癌ガイドライン2009年版(金原書店), 各種添付文書, 保健薬辞典, 各製薬会社ホームページ
(鹿児島市医師会病院薬剤部 柿本 智広)